

#### 1. プログラム概要

「対日理解促進交流プログラム」の一環として、SAARC7 カ国よりエネルギーに関心を有する大学生 109 名が来日し、日本の政治、社会、歴史及び外交政策に関する理解促進や、日本の魅力等の積極的な発信を目指し、1月18日から1月26日までの8泊9日の日程でプログラムを実施しました。

#### 2. 参加国・人数

アフガニスタン 14名、モルディブ 15名、スリランカ 16名、ネパール 16名、ブータン 16名、  
バングラデシュ 16名、パキスタン 16名 計 109名

#### 3. 訪問地

東京都(全員)、栃木県(アフガニスタン、モルディブ、スリランカ、ネパール、ブータン)  
滋賀県・京都府(バングラデシュ、パキスタン)

#### 4. 日程

- 1月18日(月) 成田国際空港より入国  
【視察】皇居・東京都庁(モルディブ、ネパール、ブータン、バングラデシュのみ)
- 1月19日(火) 【来日オリエンテーション】、【日本理解講義、基調講演】
- 1月20日(水) 【最先端技術視察】芝浦水再生センター  
2つのグループに分かれ、東京都から栃木県・滋賀県へ移動
- 1月21日(木) ~1月24日(日)
1. 栃木県グループ (グループ A, B, C)  
【学校交流】帝京大学、【地方自治体表敬】大田原市役所  
【地場産業・商業施設視察】株式会社トーセン、トコトコ大田原  
【歴史的建造物視察】大雄寺、【環境】なかがわ水遊園  
【地域交流】ホームステイ  
【ワークショップ】報告会準備
  2. 滋賀県グループ (グループ D)  
【学校交流】立命館大学びわこくさつキャンパス  
【最先端技術視察】京セラファインセラミック館  
【歴史的建造物視察】金閣寺、伏見稲荷大社、近江日野商人館、馬見岡綿向神社  
【環境】菜の花エコプロジェクト(あいとうエコプラザ菜の花館)  
【地域交流】民泊入村式、ホームステイ、民泊歓送会  
【ワークショップ】報告会準備

- 1月25日（月） 東京へ移動  
**【報告会】** 訪日成果・帰国後活動計画発表
- 1月26日（火） **【歴史・伝統文化視察】** 江戸東京博物館（アフガニスタン、ネパール、ブータン、パキスタンのみ）  
**【最先端技術視察】** 有明清掃工場、パナソニックセンター（アフガニスタン、ネパール、ブータン、パキスタンのみ）  
 成田国際空港より出国

## 5. JENESYS2015 プログラム記録写真

### SAARC（エネルギー）訪日団の記録（栃木グループ）

	
<p>1/21 <b>【学校交流】</b> 帝京大学（宇都宮市）</p>	<p>1/21 <b>【地方自治体表敬】</b> 大田原市役所（大田原市）</p>
	
<p>1/22 <b>【地域産業視察】</b> 株式会社トーセン（矢板市）</p>	<p>1/22 <b>【環境】</b> なかがわ水遊園（大田原市）</p>



1/23 【地域交流】ホームステイ（大田原市）



1/25 【報告会】（東京都）

**SAARC（エネルギー）訪日団の記録（滋賀グループ）**



1/21 【学校交流】立命館大学びわこくさつキャンパス（草津市）



1/22 【最先端技術視察】京セラファインセラミック館（京都市）



1/23 【環境】菜の花エコプロジェクト（あいとうエコプラザ菜の花館）（東近江市）



1/23 【地域交流】ホームステイ（日野町）



1/23 【歴史的建造物視察】馬見岡綿向神社  
(日野町)



1/25 【報告会】(東京都)

## 6. 参加者の感想

### ◆ ネパール 学生

来日する前に聞いていたことは、日本は技術的に進んだ国だということだけでした。日本に来てみてとてもびっくりしました。それは細かな事まで、全てが巧みに運営されていることが分かったからです。全てが機能的に運営されています。例えば、日々の生活基盤として必要な交通、廃棄物処理、水道、等々です。生活基盤として必要なものも十分運営されていない国から来た私にとっては驚きでした。

日本人の真似ができ又真似すべきなのは、時間を守ること、機能的に運営すること、礼儀、規律、他者への尊敬、そして勤勉さです。

日本人はとても丁寧に親切、そして誠実です。ここで日本と日本人の理解を通じて学んだことを出来るだけ我が国に伝えて行きたいと思います。

### ◆ スリランカ学生

成田に到着した瞬間から強烈な印象がありました。最初に感じたのは時間の正確さです。公共機関ばかりでなく、一般の人でも時間が正確でした。私も実践したい習慣です。次に気が付いた事は、どこも綺麗でごみ一つ落ちていないことです。郊外や家の中も綺麗でよく片付いています。また、高い技術が生活に溶け込んでいて一般の人たちの日常生活がとても便利です。

一般の人が先端技術を使いこなすと同時に、伝統と習慣を重んじています。家族の中で貴重な文化を守ろうとしています。

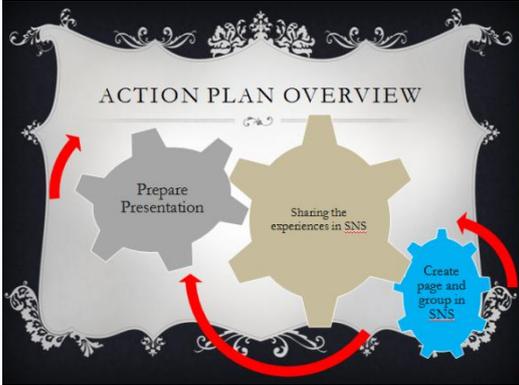
気付いたことの中で最も重要なことは、日本人の姿勢や心の持ち方です。彼らは少なくとも私たちが観察した限り、階級による差別が無いことで、誰にでも敬意をもって接します。このことが日本がとても早く発展した主な理由と考えます。

### ◆ パキスタン学生

日本人が私たちに示してくれた態度の素晴らしさに、とても感動しました。見知らぬ私たちに対する優しさは、私たちがここでは外国人だという事を、すっかり忘れさせて

くれるほど温かいものでした。日本の技術の発展にも大いに驚かされました。帰国したらまず大学でイベントを開催し、日本の技術の素晴らしい発展の現状を伝えたいです。更に驚かされたのは、技術はこれほど発展していても、日本人は決して自分たちの文化や伝統を忘れていないのです。何より楽しかったのはホームステイで、日本の生活や伝統を理解することができました。日本の家族がどれほど私たちを親身になり面倒見てくれたか、国の家族にすべて話したいです。日本の家族と別れることは本当につらいことですが、これからもずっと連絡を取り合い親交を深めていきます。素晴らしい時間を過ごすことができました。「ありがとうございました。」

## 7. 参加者の帰国後の発信内容（報告会での）例/ 派遣国での発信内容

 <p><b>Future Action Plan</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ <b>Enhance cooperation between academia and industry- translation of research</b></li> <li>• Idea sharing: Establishment of technology parks where government bridges the academia with industry</li> <li>• Collaboration: Collaborative research activities to solve newly arising problems in industrial sectors</li> </ul>	<p><b>WHAT'S NEXT:</b> <b>2. CONVEYING INFORMATION</b></p> <p><b>As a group</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- Report to the Embassy of Japan, Sri Lanka</li> <li>- Online forum</li> <li>- National newspaper article</li> </ul>  <p><b>As individuals</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- Presentation in universities</li> <li>- Social media</li> <li>- Word of mouth</li> </ul>   
<p>アクションプラン（バングラデシュ・パキスタン）</p>	<p>アクションプラン（スリランカ）</p>
 <p><b>ACTION PLAN OVERVIEW</b></p> <p>Prepare Presentation</p> <p>Sharing the experiences in SNS</p> <p>Create page and group in SNS</p>	<p>#JENESYS2105 Photos Group A (Afghanistan and Maldives) Supervisor, Coordinator and Students.</p>    
<p>アクションプラン（ブータン）</p>	<p>Facebook 発信（アフガニスタン）</p>